

校

医



第 385 号 平成 22 年 8 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町 601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 奥村正治

## 学校関係者と懇談会

会長 奥村正治

本年も学校医会理事者と教育関係者との懇談会が開催されました。元来、教育委員会・養護教育研究会と懇談会は存在していた様であるが、羽場会長の時より、校長先生との会とも懇談会が必要との事で校長会とも懇談会が始まった。初めは、小学校、中学校と別々に行なっていたが、会合が多くなるという事で、現在では園校長会という事で 1 本化されています。本年も①教育委員会と②園校長会と③養護教育研究会との 3 本建である。学校医会側からは、内科系、耳鼻科慶、眼科系とそれぞれの校医の部より何人かが出席している。①には、教育長をはじめ年によっては次長の出席もあるが、学校医会担当の体育健康教育室の室長や保健課長等の出席となる。学校医会名簿の最後になるが、京都市教育委員会のページがあるが、その中から関係者の出席となる。②には、京都市に 16 園ある京都市立幼稚園の部、小学校の部、中学校の部、高等学校の部、総合支援学校の部の 5 部会よりの出席となる。③には、養護の先生の部と書きたいところであるが、ややこしいのです。養護教育研究会という養護の先生方で組織しておられる会があり、その会との懇談会となる。養護の先生方の約 9 割の方々が参画しておられる研究会である。

教育委員会とは 7 月 10 日(土)に行なわれ、高桑教育長、山本体育健康教育室長、富田保健課長、有澤担当課長補佐の 4 名の出席でどちらかと言うと学校医会の方から教育委員会に注文やおたずね等をする会である。本年は、MR の集団接種に学校関係者、特に養護の先生の御努力があり、目標の 95% 以上(接種率)が達成出来、御礼を申し上げた。又、教育の関係で、医師の出務(講師等も含む)が最近増え

た様な気がするが、日程の決め方にクレームをつけ、どの先生が出務するかではなく、まず日程をいつにするかから早く連絡がほしい。土曜日やウィークデーの出務依頼が増えており、休業をして参画をお願いするという事のない様にしてほしい。と申し加えた。次に、学校職員(用務、給食職員は除く)の 1 校 50 名以上の場合、一企業と考え、産業医の参画が必要になって来る。現在は京都市で 15 校あり、校医の早川先生と長村先生に総括産業医として巡視をお願いしている。お一人の先生にオーバーワークになっており、今後京都市の学校で 50 名以上の学校は増加しそうなのか減少しそうなのかをお尋ねすると増加の方向に向うであろうとの解答を得た為、校医において統括産業医の増員が必要になって来ると思われる。産業医の資格をお持ちの先生には今後よろしくお願い申し上げます。次にパイロット事業として数校に行なわれている運動器検診について、林副会長より、担当校の実情を話していただいた。スポーツクラブに属している中学生でも十分な運動器の検診に合格しない為、クラブ後のストレッチ運動の不足等を指摘された。検診そのものの動きに教育委員会はあまりご存知でなかった様である。ちょうど山科で MR 接種の薬品の保管で問題があり、教育の場の信用がそこなわれる事を心配しておられ、学校での集団接種には特に注意を要する話題と思われた。

園校長会とは、7 月 3 日(土)に行なわれた。出席者はそれぞれの部門より 2 名が出席され、部会長、副部会長が出席された様である。MR 接種のお礼を申しあげたが、この話題で予定の時間大半がつかやされ、他の話題は懇親会でという事になり、話題が色々あったのか、今までの園校長会では一番なごや

かな会になったのでは？と思います。MRの話では、中学生は目標値を大きく越え、97.5%の接種率であった点では、中学校の校長先生は鼻高々だったかもしれない。Ⅱ期はちょうど幼稚園に関係しており、出席の先生にお伺いすると、「当園ではⅡ期は100%でした」という答えをいただき、京都市立は、がんばっておられるということが判明した。私立、保育園の努力を望む事になる。問題のⅣ期高校生は、76.2%となり、高校の先生より「MRがんばります」とのうれしいご発声をいただきました。

養護教育研究部会とは、7月24日(土)に開かれ、稲葉会長、久下副会長、森田研究部長と小原指導主事の4名の出席でした。例年より参加者が少ないですが、副会長であられた小原先生が4月より指導主事になられた為、役員への補充が間に合わなかったとの事で少人数になりましたとの事。こちらの会はどちらか云うと養護の先生より学校医会の方に物申すという傾向のある会である。ところが本年は話題が少なく、例年学校医会の会長さんをこまらせる会であった様だが、本年は困りごとはありませんでした。話題の1つは、耳鼻科の話題でしたが、校医の先生が交代した為か、疾病・異常の生徒さんの人数に差がありすぎ、養護の先生が困っておられるという話題でした。耳鼻科から御出席の先生にて受け答えしていただきましたが、検診の時期にもより差が出たり、耳垢の場合など、前回に十分処置をした人とそうでない人でも差が出て来るので、前回の様子も課

題となる点などを話していただき、次の話題へとりましたが、異常と取るか取らないかは校医に一任されているが、学校によりバラつきが多く出る様では統計という点から問題が出る。もう一度、考えてみる話題でもある。

もう1つは、校医の先生が中途退職なされ、次年度の定期健康診断計画立案に支障をきたしたという話題です。これは出来るだけ早く決めますが、地区により決定方法にちがいがあある為、どこの地区もすぐにとは中中ならない事を話し、やむをえない場合などは現職の他の校医の先生のピンチヒッターもありえる。又、校医の側にも次年度の事を考え、じょうずに退職していただくという事をお願いいたします。定年御退職の場合は前もって学校医会の方からも動いておりますので、この様な問題には発展しないだろうと予測しています。いづれの話題も養護の先生と校医との会話がもっともっと多ければ、おのずから解決する様な気がします。どうぞ校医の先生からも養護の先生へ「何か困った事はない？」の発信をお願いいたします。懇親の場ではありましたが、養護の先生の管理職が少ないとの事です。そう云えば養護の先生の校長先生はまだ1人もおられないのでは…？「学校医会からもプッシュして下さい。」とハッパかけられました。ルールはよく知りませんが、養護の先生が、教職課程のコースを辿られてるのでしょうか？一般企業の方が校長先生になられた話も聞きます。校長先生はどうしたらなれるのでしょうか？

---

## 第32回近畿学校保健連絡協議会報告

会長 奥村正治

梅雨があけようかという7月15日(木)午後2時より、当番府県の滋賀県の主催で、「ピアザ淡海」の大会議室で行なわれました。この会は、日本学校保健会近畿ブロック連絡協議会でもあり、日本学校保健会に物申すという主題がある様です。当日のプログラムは、前半、研究協議として各府県・政令市の学校保健会からの報告と、後半、講演という流れです。

前半の研究協議は、各府県ですので6部会、政令市ですので京都市を含み大阪市、神戸市、堺市の4部会、計10部会よりの報告ですが、報告を発表する

だけで、協議する時間が十分に取れず、京都の薬剤師部会の原田会長より「事前の会議を持っていたいただき、東京に物申す協議をする時間にしていただきたい。」の話が出て、今後の会では協議をしようという事になりました。本年は、各部会よりの発表が中心になりました。発表の課題は、1)本年度の研究課題について、2)全国学校保健会協議会において協議してほしい事項および各地区での特色ある活動について、3)(財)日本学校保健会を通じて、国への「学校保健」の充実にする要望等について、という三題でした。

我京都府は、1) ①児童生徒の生活習慣に関する健康課題への対応について、②学校保健委員会の積極的な活動の推進について。2) 協議事項は「学校保健委員会の効果的な活用の在り方」又、特色ある活動については、京都市を除く13の地域で学校保健会が別々に活動しているが、高等学校の部も活動し、年一回であるが全学校保健会が集まり、「京都府学校保健研究大会」開催している。3) に関しては特に要望なし。

京都市は、1) ①保健管理・指導の更なる推進と生活習慣の確立、②新たな健康課題等に対応した関係機関の連携の強化。2) ①新たな難病・疾患対策の環境整備についてとして、性同一性障害、脳脊髄液減少症などの児童生徒に対し、どのような環境の整備が必要か、②むし歯予防対策の充実について、③薬物乱用防止教育等の充実。3) ①新たな難病・疾患対策の環境支援について、②養護教諭等の増員、という課題でした。

後半の講演は、関西国際大学・神戸親和女子大学の客員教授をなさっている、元NHKアナウンサーの高梨敬一郎氏の「聞き上手は話し上手」という課

題の話でした。学校保健連絡協議会とはいえ、現職の学校の先生の参加が中心になる会ですので、学校の先生に向けての発信が多かった様です。話し上手と云うよりは、自分の意見を話して相手に伝えるのが会話——話であるが、上手になる方法は、十二分に聞き手にまわる事であるというのが結論ですという話題でした。最近学校で話題になるなんでも文句をいう親が増加した様であるが、その対応策のガイドブックも教育委員会から出ている様であるが、対策をどうしようというのではなく、まず文句のある人の話を十二分に聞く事であり、話の途中で色々策を云うのではなく、十二分に聞く、云いかえると文句のある人が十二分に話すという事がすんだら問題の8割、9割は解決したのと同様ですとの話であった。元アナウンサーと云う事もあり、話し上手な人の講演でもあったわけだが、マイクの使い方が上手であり、聞く人の耳をたいくつさせない方法をご存知というテクニックも併わさり、たいくつをしない話でありました。

次期は、奈良県が当番の様であります。

## 京都府医師会指定学校医制度 単位取得研修会・講演会のお知らせ

### 京都小児科医学会学術講演会

開催日 平成22年9月11日(土) 午後6時～

会場 京都ホテルオークラ 3F 翠雲の間 (中京区河原町御池) TEL 211-5111)

講演 「2010年度 インフルエンザ総合対策」

川崎医科大学 小児科学講座 教授 中野 貴司 氏

### 第11回 京都喘息研究会講演会

開催日 平成22年9月11日(土) 午後3時～4時30分

会場 京都府医師会館3F 305号会議室 (中京区壬生東高田町1-9 TEL 312-3671)

講演 「こどもの目線を考える気管支喘息診療 —小児における吸入ステロイド治療—」

西藤小児科こどもの呼吸器・アレルギークリニック 院長 西藤 成雄 氏

参加費 1,000円

### 子育て支援シンポジウム

開催日 平成22年10月2日(土) 午後2時～4時

会場 こどもみらい館4F 第1研修室 (中京区間之町通竹屋町下る TEL 254-5001)

テーマ 「ワクチンによって防げる病気(VPD)を知ろう！」

講演 ・「VPDとは？」 京都市立病院感染症内科部長 清水 恒広 氏

・「はしかゼロをめざして」 辻小児科内科医院 辻 幸子 氏

・「その他新しいワクチンについて」 竹内小児科医院 竹内 宏一 氏

### 第2回 園医・保育士のための研修会

開催日 平成22年10月3日(日) 午前10時～

会場 京都府立医科大学図書館ホール (上京区清和院口寺町東入中御霊町410)

申込 事前申込制(参加申込用紙は小児科学会HPからダウンロードしてFAX(03-3816-6036)でお送りください)

参加費 会員5,000円 非会員3,000円

## 第24回京都市小学生水泳記録会に参加して

長村吉朗

7月29日西京極の京都アクアリーナにおいて、第24回京都市小学生水泳記録会が開催され、私が医務班として参加して参りましたので報告いたします。

10時から開会ですが、開会前の9時から練習時間で、1270名の参加者が次々とプールに飛び込む昨年と同様のすごい始まり方でした。昨年と異なるのは、練習にもかかわらず途中までしか泳げない子が多くいたことです。練習不足なのか、足の立たない

プールが怖いのか、コースロープにつかまって監視の先生にプールサイドに誘導される児童の数が非常に多く感じました。本番では数は減りましたが、同様の児童が見受けられました。

処置を要した数は5名で、鼻血、こむら返りと発熱で特に問題となる事はありませんでした。外はこの夏初めての雨の中、冷房の効いたプールサイドでの楽しい一日を過ごしました。

### 第4回 常任理事会

平成22年8月7日  
於 事務局

**出席者** 奥村会長、林・竹内副会長、井本専務理事、東道・福持・杉本各常任理事、佐野眼科学校医会副会長、星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医会理事

#### ・会長挨拶

#### <報告事項>

1. 校園長部会との懇談会 7/3
2. 色覚相談  
7/6、7/13、7/20、7/27、8/3
3. 府医学校医部会幹事会 7/8
4. 精神衛生研究会 7/8 10名出席
5. 市教委との懇談会 7/10
6. 腎臓相談 7/13
7. 第32回近畿学校保健連絡協議会 7/15  
奥村出席 滋賀県が当番(次回奈良県)
8. 第25回京都市小学校「大文字駅伝」大会実行委員会委員の委嘱並びに第1回実行委員会  
7/20 奥村・林出席
9. 府医学校保健委員会 7/21
10. ワンポイント相談 7/22 1件(小5)
11. 養護教育研究会との懇談会 7/24
12. 「給食調理員・栄養教諭・学校栄養職員」のメンタルヘルス講演会 7/28

13. 府医学校保健委員会、運動器学校検診モデル事業小委員会 7/29 奥村出席
14. 京都市小学生水泳記録会 7/29  
於：アクアリーナ 長村出席
15. 平成22年度京都市就学指導委員会総会並びに研修会 8/6 於：こどもみらい館4F

#### <協議事項>

1. 平成22年度京都市学校保健会健康教育シンポジウム 10/20 学校医会より杉本先生をシンポジストに選出
2. 京都市保健会広報誌「京都の学校保健No.112」の執筆を長村先生に依頼
3. 平成22年度子どもの健康週間行事に係る「子育て支援シンポジウム」への後援について  
10/2 於：こどもみらい館(府医主催)
4. その他

#### <関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 8/17、8/31
2. 心臓相談 8/18
3. ワンポイント相談 8/26
4. 第5回常任理事会 9/4 pm14:00~

#### 体育健康教育室からのお知らせ

平成22年9月6日(月)から、京都市教育委員会事務局体育健康教育室の執務室が移転します。  
詳細は次号でご案内しますが、取り急ぎ、学校保健安全担当の電話番号とFAX番号をお知らせします。

新電話番号 075-708-5321  
新FAX番号 075-551-9550